NANBAKA

FUTAMAYA SYO

第32話 死の生き地獄

ドクン
ドクン
お前…！
俺の身体に何をしたっ!!?
何を言っている私はあの最初に言った通り
私はあの『人体発火現象』を起こす身体を
『治す』って言っていたじゃないか…!!
『直し』てあげたじゃないか
自分の意思で自在に出来るように調整してあげたんだよ
君は『炎』を操る人間として生まれ変わったんだよ
生まれ…変わる…？
なんだよそれ…
俺はっ!!
コイツがあるからっ!!
生きるのが辛かったんだ…！
人からの信頼も両親も無くしたんだ…
こんなものさえ…
無ければ…
ずっと…
思っていたのに…
それなのにお前のやったことは何だ!!?
コントロール!!?調整!!?
ふざけるな!!
これじゃ…
俺はこんなもの望んでない!!
今無理矢理変えられたとしても
もう元通りになるとは思ってないよ
ゆっくりと…
知らないうちに…
ゆっくりと…
ゆっくりと…
何だこの姿は
本物のバケモノじゃないか…
文句ばかり言ってんじゃねーよ

人ってホントに立ち存在になったんだ 喜べよ！

自分自身が「超能力者」だったことに気付いてしまったか…

じゃないと俺に無駄になるぐらいの能力なんて与えないだろ

お前…！

大変だったんだぜ？！ 放火魔だとか言われっぱなしで…ずっと証明するのに苦労を広めるのは…

あ…あ…つ…ぶ…ら…

学生一生懸命でも 学生一生懸命でも 結果をのぞむ人もいるから 俺の能力は…まったくけんか

俺の能力は保護くの 俺の能力は保護くの 俺の能力は保護くの 俺の能力は保護くの

楽な仕事だったよ

お前が…

仕組んでいたのか…

全部…仕組んでいたのか!!

これで俺の言ったことは現実になったろ？

ヒヒッ

放火事件も 放火事件も 放火事件も 放火事件も

人体発火を利用して 人体発火を利用して 人体発火を利用して 人体発火を利用して

火魔の家にガソリンを撒いたのも 火魔の家にガソリンを撒いたのも 火魔の家にガソリンを撒いたのも 火魔の家にガソリンを撒いたのも

火を放ったのも 火を放ったのも 火を放ったのも 火を放ったのも

火を放ったのも 火を放ったのも 火を放ったのも 火を放ったのも

何のためにこんなことを…!!

わんわん泣いてるの？ 研究だと言ったろ

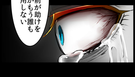
お前の人体発火は 他のとは違う 発火 生 死 生 死 生 死

社会からが、迫害されたお前らが

実験は死んだ仲間にも、因果感じ自殺したとも言えるしな

おれは初の犯罪者に立ち向かう者の証しなんだ。

だから、お前の遺言にあなたの名を刻ませてもらいます。これで現場マーキングは完了です。



To Be Continued...